



若葉保育園



若葉保育園では、石の探究を行いました。

1巡目の活動で子どもたちは、拾ってきた石と向き合います。
石を前に子どもたちは、触って、見立てて、叩いて、こすって.....

思い思いに石と向き合っていました。

これらの探究活動をもとに、子どもたちと先生が協力して新聞を作りました。

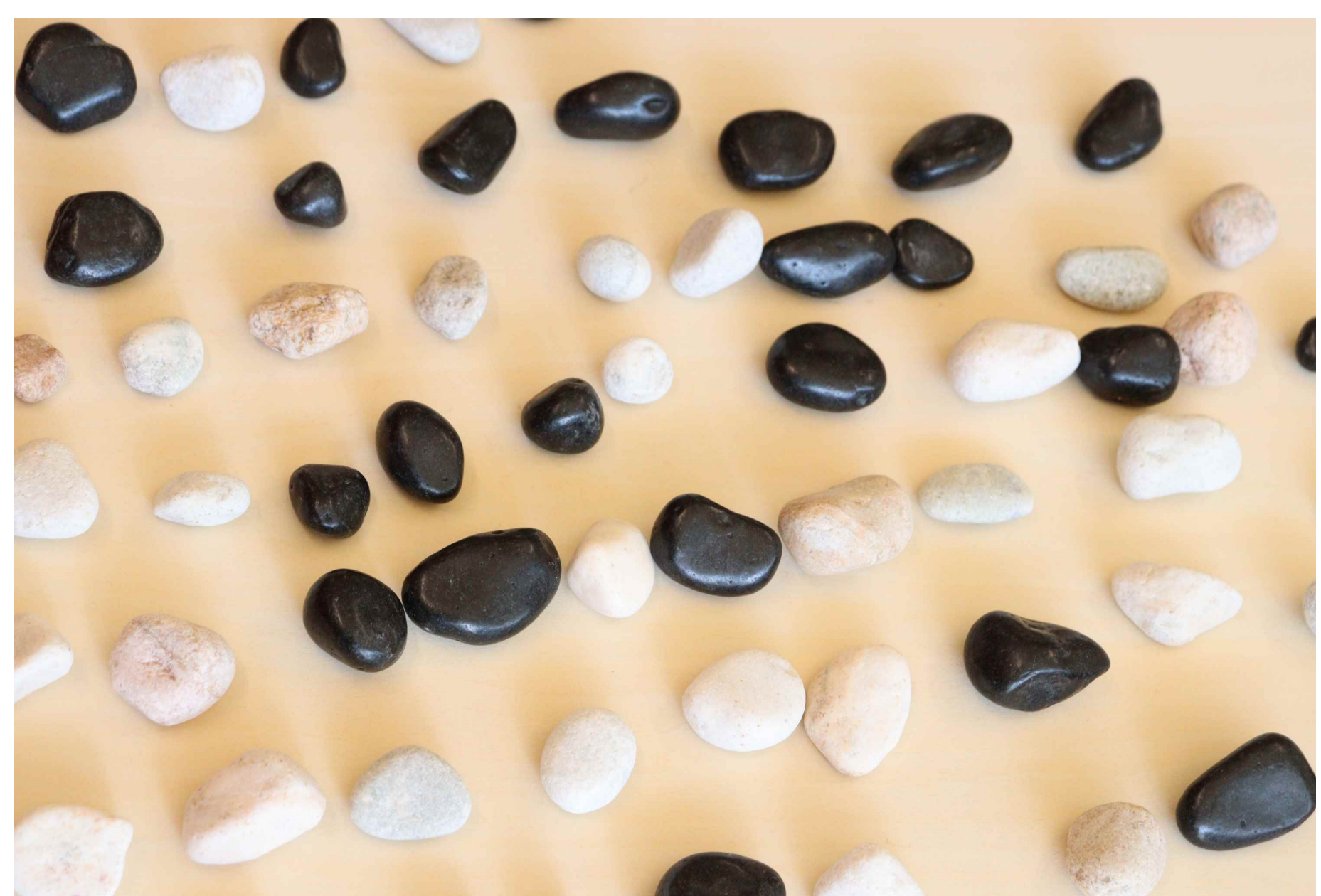
「じぶんのじゃないのかとおもった」
「いしがおおきくみえた」
「カメラおもしろい」
「かぞく」
「サッカーをしている」



「おとをたしかめてみる」
「マグマにみずをかけると、いしになるんだよ」
「さばくいろ」
「いしがはんぶんしかみえない」
「いしのなかにいしがある」
「くろいおえかきしたよ」

「いしをとんとんしたんだよ」
「こながいっぱい」
「ゆきみたい」
「くるまみたい」
「むしめがねおもしろい」
「これはいしではない。すなのかたまりだ」





2巡目の活動では、黒石と白石を準備し、「さまざまな石の素材を知る」というねらいをもって活動を展開しました。

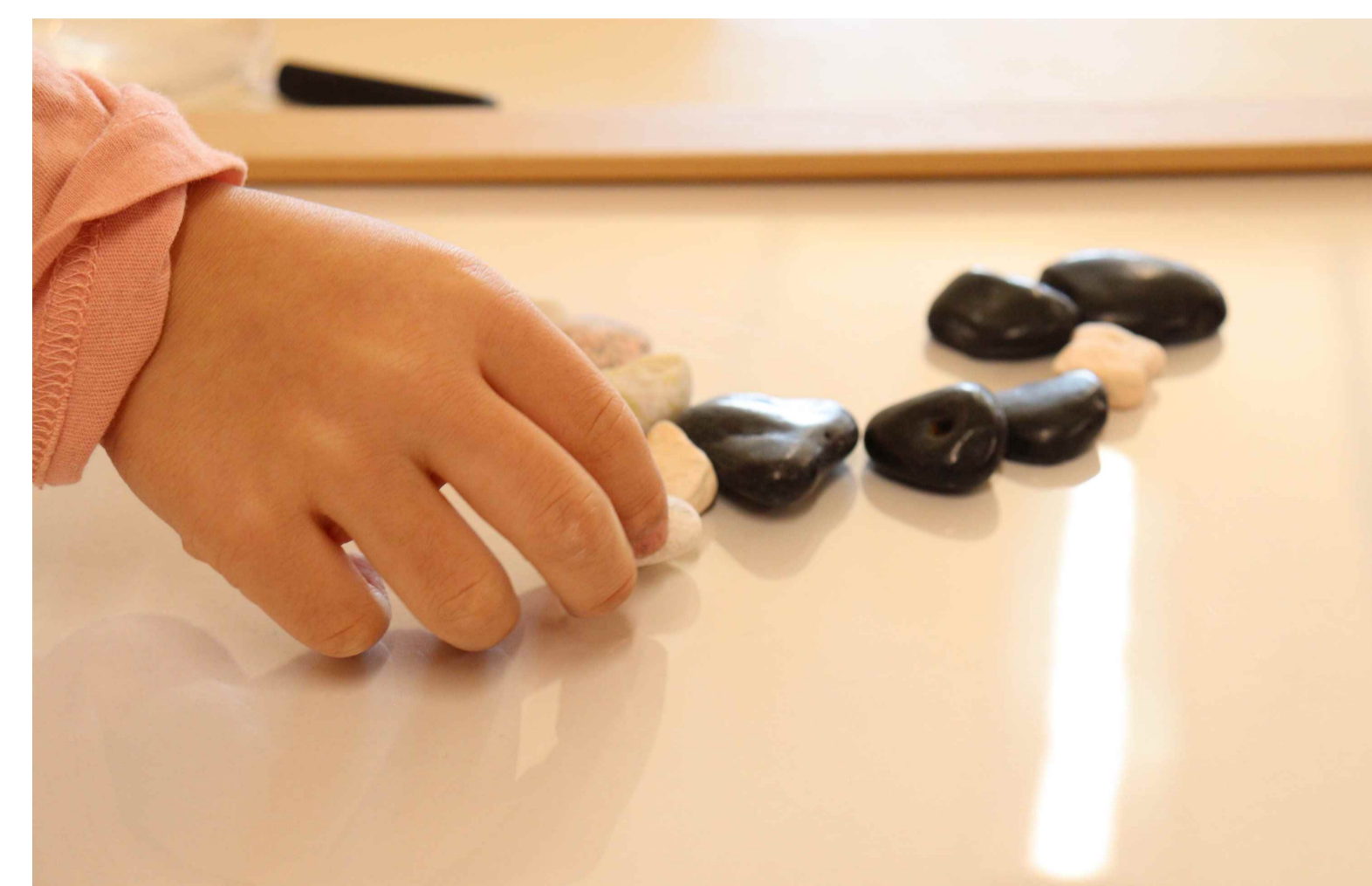
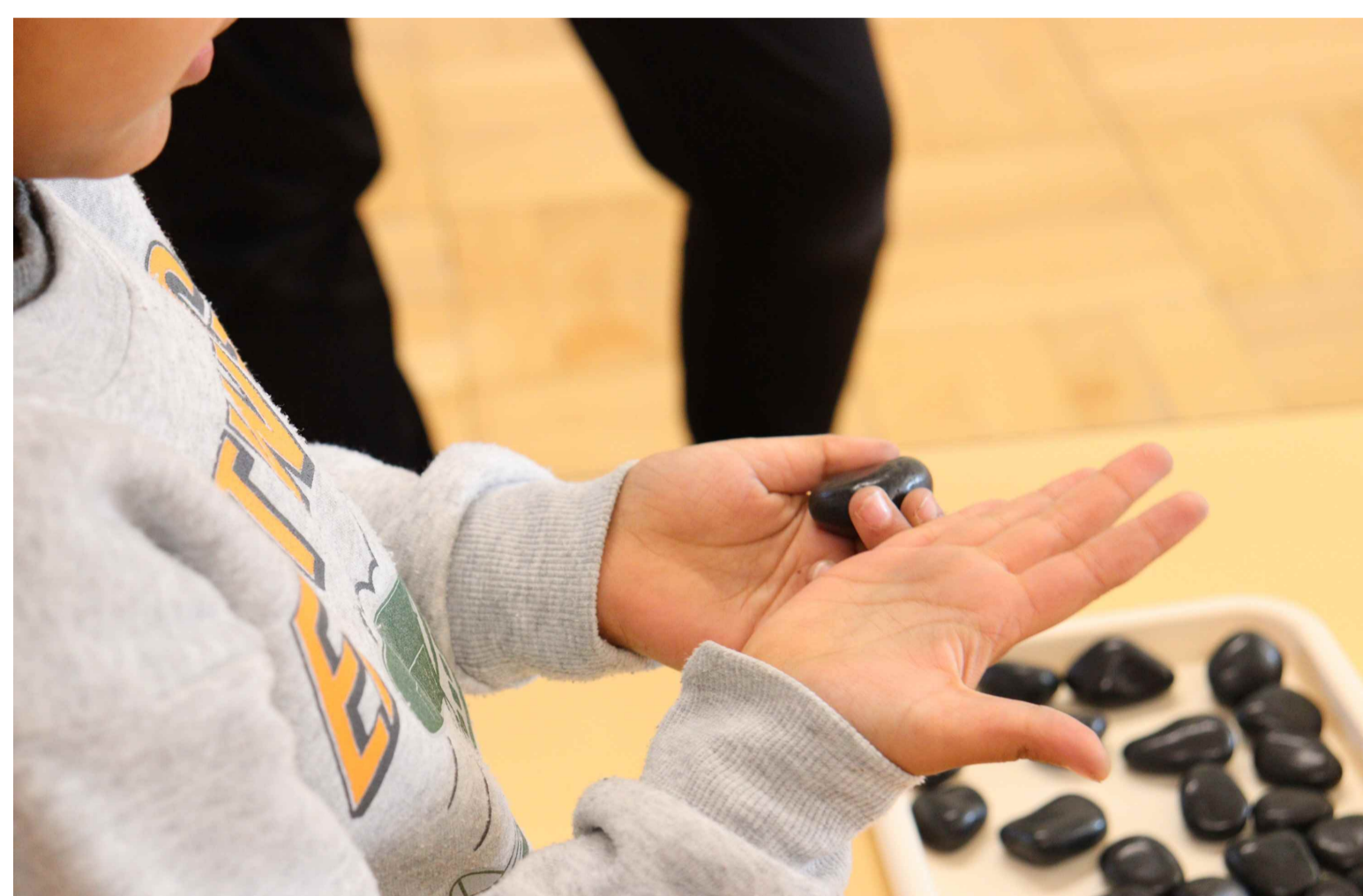
環境設定：黒石、白石、様々な色の画用紙、額縁、大判の木の板、虫眼鏡、子ども用カメラ、トレイ

石や紙は作業スペースの中央に置いておき、子どもたち自身が数や素材を選べるように設定しました。

子どもたちと石の触れ合い方はさまざまです。

手や紙と擦り合わせてみたり、規則的にまたはランダムに並べてみたり、100を超える数を数えてみたり、額縁の縁の上に並べてみたり.....。

前回の自然の石を用いた活動の経験が活きており、子どもたちは思い思いに石と関わっていました。



一通り作り終わると、カメラを持ってきて自分で自分の作品を撮影します。カメラという道具に惹かれた子は、自分の作品だけでなく、友だちの作品や制作風景の撮影にまで出向いていくほどでした。

「これは"100このアート"なんだ」
「いしのかぞく」
「キラキラひかるいしはおもい」
「よぞらのほしとかわ」
「ピストル！」
「つきをつくるんだ」



3巡目の活動では、「石と自然物をグループのみんなで探究する」ことをねらいとし、石以外の様々な自然物も準備しました。

環境設定：散歩で拾ってきた石、黒石、白石、どんぐり、まつぼっくり、枝、葉っぱ、花、種、コルク、板、大型ラシャ紙、養生テープ、虫メガネ、子ども用カメラ、トレイ、シート

最初はそれぞれ好きなものを作っていた子どもたちは、先生の「つなげてみたら」という言葉を受けて、あるいはお互いのアイディアの関係から、次第につながっていく姿を見せてくれました。

